株主メモ

■事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

■定時株主総会基準日 毎年3月31日 開催日 毎年6月中

■剰余金の配当期末配当基準日 3月31日 中間配当基準日 9月30日

■単元株式数 100株

■公告方法

電子公告(事故その他やむを得ない 場合は日本経済新聞に掲載)

https://www.tpr.co.jp 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

■株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

■お問い合わせ先

証券会社等に口座をお持ちの場合		証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)	
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部	
電話お問い合わせ先	1. Th 7.1 A = 7.14 A + 1.44	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)	
各種手続お取扱店 (住所変更、株主 配 当 金 受 取 り 方法の変更等)	お取引の証券会社等	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットプース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)		
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座では、単元未満株式の買覧には、右の「特別口座の場合」の郵便物 は対方・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。		

■ ホームページアドレス https://www.tpr.co.jp

お知らせ

単元未満株式の買取制度について

単元未満株式(100株に満たない当社株式)を当社が買い取る【買取制度】 がございます。

詳しくは、みずほ信託銀行(0120-288-324)にお問い合わせください。

■ 買取制度の例(150株ご所有の場合)





50株 当計が買取

100株 単元株式として残ります

配当金の確定申告について

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配 分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

TPR株式会社



見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント を採用しています。







株主の皆様へ

平素は格別のご高配とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社第89期第2四半期連結累計期間が終了しましたので、 概況につきご報告申し上げます。

コロナ再拡大による半導体不足、サプライチェーン制約の 顕在化

当第2四半期連結累計期間を取り巻く経営環境につきましては、海外経済の回復に伴う輸出の増加で夏場までは堅調に推移し、また自動車業界につきましても、国内外において、自動車生産ならびに販売台数が回復しました。

一方で、夏場以降、グローバルでコロナ感染再拡大によるロックダウンや半導体・原材料不足に伴うサプライチェーンの制約が顕在化し、先行きの不透明感が高まりました。

こうした経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間については、自動車販売台数の回復基調と、原価低減活動や合理化の推進といった経営努力の継続遂行が奏功し、売上高は809億円(前年同期比28%増)、営業利益は64億円(同1,616%増)、経常利益は84億円(同248%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億円(同353%増)と、前年同期比で大幅な増収増益となりました。ただし、前述の半導体不足とサプライチェーンの混乱は、今年度後半も続くものと考えております。

中間配当につきましては、今後の不確実性はあるものの、 当社の上期業績ならびに株主様のご期待などを勘案し、前 期比8円増配の一株当たり29円とさせていただきたいと存 じます。

業績向上に邁進し、サステナビリティを巡る課題へも取り 組んでまいります

現在、世界的な行動変容や環境意識の高まりにより、気

候変動対策をはじめとするサステナビリティをめぐる諸問題への企業の取組みが求められております。そうしたなか、弊社は2050年でのカーボンニュートラル実現を目指し、持続可能な企業であり続けるため、多様性のある企業文化を醸成し、いかなる環境変化にも対応できるよう組織の強靭化を図っていきます。

また、弊社はサステナビリティをめぐる諸問題はリスクとしてのみならず貴重な収益機会とも考えております。既存事業の収益最大化を図りつつ、得られた利益をCASE対応といった新規事業への積極投資に振り向け、「受容性のある(Inclusive)、環境に優しい(Ecological)、画期的で(Game-Changing)、持続可能な(Sustainable)」成長を目指して、経営理念に掲げる「クリーンでクオリティの地球社会の実現」に貢献してまいります。

株主の皆様の変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し 上げます。

2021年12月13日



代表取締役会長兼CEO 末庸 博

■第2四半期連結決算ハイライト

■売	上	高	809億3百万円
■営	業利	益	64億42百万円
■経	常利	益	84億18百万円

親会社株主に帰属 する四半期純利益 41億70百万円

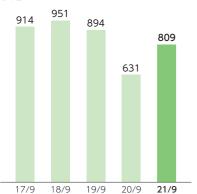
■ 2022年3月期通期連結業績予想

■売	Т	=	高	1,589 億円
■営	業	利	益	117億円
■経	常	利	益	143 億円

会社株主に帰属 る当期純利益 67億円

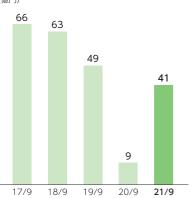
売上高 809億円 (前年同期比 28.1%増) **□**





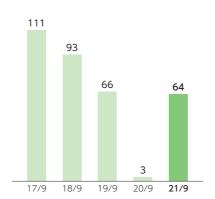
親会社株主に帰属 41億円 (前年同期比 353.1%増) 乙

(億円)

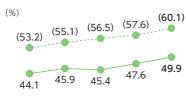


営業利益 64億円 (前年同期比 1,616.1%増) 🔼

(億円)



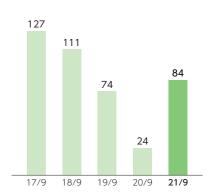
自己資本比率



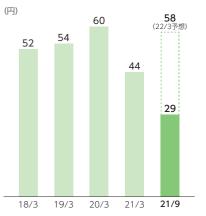
18/3 19/3 20/3 21/3 **21/9** ※ () 内は、総資産から現預金を控除した場合の数値

経常利益 84_{億円 (前年同期比} 248.5%增) 🔽

(億円)



1株当たり配当金



セグメント情報

セグメント業績

売上高構成比率 (当第2四半期連結累計期間)

日本

アシ

北米

その他地域

ファルテックグループ

TPRグループ (ファルテックグループを除く)



日本は、売上高は224億96百万円で、前年同期に比べて49億57百万円の増収となりました。セグメント利益は11億93百万円で、前年同期に比べて24億47百万円の増益となりました。



アジア地域は、売上高は185億87百万円で、夏場に向けてはコロナ等の影響で頭打ちとなったものの、中国およびその他地域で生産台数が回復、前年同期に比べて59億45百万円の増松となりました。セグメント利益は40億63百万円で、前年同期に比べて15億4百万円の増益となりました。



北米地域は、売上高は56億3百万円で、前年同期に比べて14億6百万円の増収となりました。セグメント利益は3億円で、前年同期に比べて4億86百万円の増益となりました。



その他地域は、売上高は10億6百万円で、前年同期に比べて2億76百万円の増収となりました。セグメント利益は1億91百万円で、前年同期に比べて82百万円の増益となりました。



売上高は332億9百万円で、半導体供給不足の影響等あったものの、コロナ関係をに伴う影響からは回復、前年同期に比べて51億53百万円の増収となりました。セグメント利益は売りでは、19原価低減活動を推進したこと等により6億15百円の利益を計上、前年同期に比べて19億6百万円の増益となりました。



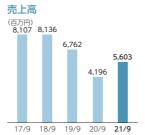
営業利益 (百万円)

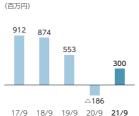












営業利益









連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表(要旨)

単位:百万円

71 -	当第2四半期末	前期末
科目	(2021.9.30現在)	(2021.3.31現在)
資産の部		
流動資産	116,645	117,344
固定資産	131,519	126,715
有形固定資産	72,903	70,394
無形固定資産	2,152	2,174
投資その他の資産	56,463	54,147
資産合計	248,165	244,059
負債の部		
流動負債	61,452	68,605
固定負債	33,905	32,314
負債合計	95,358	100,920
純資産の部		
株主資本	106,822	103,322
その他の包括利益累計額	16,921	12,909
新株予約権	147	147
非支配株主持分	28,915	26,759
純資産合計	152,807	143,139
負債・純資産合計	248,165	244,059

■営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、130億88百万円(前年同期比121.3%増)となりました。 主な資金の増加は、税金等調整前四半期純利益81億13百万円、売上債権の減少額52億83百万 円、減価償却費52億5百万円、主な資金の減少は、棚卸資産の増加額24億78百万円、法人税等 の支払額17億1百万円、持分法による投資利益11億93百万円等であります。

■投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、54億62百万円(前年同期比8.9%増)となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出53億56百万円等によるものであります。

■財務活動によるキャッシュ・フロー -

財務活動の結果使用した資金は、86億25百万円(前年同四半期で得られた資金は17億48百万円)となりました。主な収入は長期借入金の純増加額22億19百万円、主な支出は、短期借入金の純減少額85億77百万円、非支配株主への配当金の支払額11億7百万円等によるものであります。

■ 四半期連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

	单位 · 日万円
当第2四半期 (2021.4.1~ 2021.9.30)	前第2四半期 (2020.4.1~ 2020.9.30)
80,903	63,163
61,655	51,471
19,247	11,691
12,805	11,316
6,442	375
2,176	2,303
201	262
8,418	2,415
22	3
327	208
8,113	2,210
2,204	601
5,908	1,609
1,738	688
4,170	920
	(2021.4.1~ 2021.9.30) 80,903 61,655 19,247 12,805 6,442 2,176 201 8,418 22 327 8,113 2,204 5,908 1,738

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

科目	当第2四半期 (2021.4.1~ 2021.9.30)	前第2四半期 (2020.4.1~ 2020.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,088	5,915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,462	△ 5,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,625	1,748
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,214	△ 595
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	215	2,052
現金及び現金同等物の期首残高	41,917	46,741
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,132	48,793

TPRトピックス

新市場区分「プライム市場」選択

当社は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」という。)の新市場区分「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認いたしましたので、新市場区分として「プライム市場」を選択し東証に申請を行いました。

今後とも株主の皆様との建設的な対話に努め、持続的な 成長と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。



ホームページ・リニューアル

当社ホームページをリニューアルしました。

今回のリニューアルでは、見やすく、より快適にご利用いただけるホームページを目指し、デザイン・構成を一新いたしました。当社のサステナビリティへの取組みや「TPR早わかり」といったコンテンツを用意しておりますので是非ご覧になってください。

今後とも皆様の視点に立った情報開示を続けていくとと もに、良質なコンテンツの拡充に取り組んでまいります。



会社概要・株式の状況 (2021年9月30日現在)

■ 会 社 概 要

■ 社 名 TPR株式会社

■ 所在地等 〒100-0005

東京都千代田区丸の内一丁目6番2号

新丸の内センタービル TEL:03-5293-2811 URL:https://tpr.co.jp

● 資 本 金 47億58百万円

■設 立 1939年12月3日

■従業員 788名

■株式情報

株式の状況

発行可能株式数	135,000,000 株
発行済株式数	36,100,099 株
株主数	6,386 名
	5,586 名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,531,400	10.16
明治安田生命保険相互会社	2,395,000	6.89
損害保険ジャパン株式会社	2,293,000	6.59
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,006,500	5.77
株式会社みずほ銀行	1,518,800	4.37
TPR株式会社	1,355,234	_
ヒューリック株式会社	1,231,800	3.54
東京建物株式会社	933,687	2.68
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	883,400	2.54
TPR取引先持株会	855,800	2.46
(注) 持株比索け 白己株式 (1.355.23/株) を控除して計	質しています (小数)	5第3位い下打り栓て)

(注) 持株比率は、自己株式(1,355,234株)を控除して計算しています。(小数点第3位以下切り捨て)

所有者別株式分布状況

